



村長さん、ぼくらのアイデアどうですか!?

小学生が復興策提案

みらい議会村内開催

2月2日、震災後6年ぶりに村役場内の議場で、小学生が考えた施策の提案や村への質問をする「みらい議会」が行われました。この日参加したのは、草野・飯樋・白石小学校に通う6年生33人。議長、副議長、記録係なども児童が務め、議会を運営しました。

一般質問の場面では、村長、副村長、各課長を前に、緊張する様子も見られましたが、議員役の児童は、熱弁をふるい、自分たちで考えた提案をしました。これに対し村側は、提案に対して率直な感想を述べるとともに、村で行っている事業や検討されている事業も示しながら、丁寧に答弁しました。

今年のみらい議会に参加した児童は、小学校入学を直前に控えた3月に震災に遭い、小学校生活6年間を仮設校舎で過ごしました。村内小学校に通うことができなかった子どもたちが思い描く村の復興策には、心に響く「明るく、楽しい」想いがあふれていました。

子どもたちの夢のある5つの提案をご紹介します



「飯舘村までい鬼ごっこ」の提案!

佐藤 陽季 さん (飯樋小6年)

出場者を全国から募集して、村内で鬼ごっこを開催します。村の自然と触れ合いながらスリルを味わうことができます。携帯情報端末を使った企画も行います。



「飯舘村音楽夏祭り」の提案!

青田 槇花 さん (草野小6年)

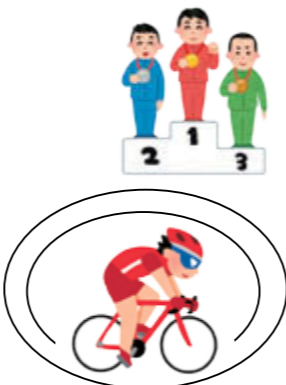
飯舘牛やイチゴ、自然など村の良いところを全国に発信するために、たくさんの方が集まり、音楽を楽しみながら交流や村PRができる新しい祭りを提案します。



「ツール・ド・飯舘」から自転車立国の提案

佐藤 藍璃 さん (飯樋小6年)

2年前の6年生が提案した村内自転車レースの開催に加えて、選手育成を提案します。「自転車といえば飯舘村」と言われるような、有名な地域を目指します。



「そうだ!釣りにいこう」の提案!

高橋 葵 さん (草野小6年)

豊かな自然環境を生かした釣り場を設けます。多くの人に、村の自然の良さを感じてもらえると思います。また、自然を守ることや、産業にもつなげることができます。



みらい議会に参加した児童の皆さん、おつかれさまでした!



「イチゴの王国」の提案!

高橋 夏菜 さん (白石小6年)

村の象徴として「イチゴ」を使い、道の駅への集客を図ります。イチゴの他にも、ひまわりや菜の花をたくさん育て、皆さんの心に残る景色を作っていきます。

